

主催：長野県針灸師会 共催：信州大学 後援：長野県

第67回信州大学学術講習会

超高齢社会をケアする多職種連携

ロコモティブ シンドローム の治療・予防

令和5年12月3日(日)
9時～15時

会場 信州大学医学部 旭総合研究棟講義室AB
(定員100名) 長野県松本市旭3丁目1-1

zoom webinarにて同時配信
(アーカイブあり)



会場地図

受講料 長野県針灸師会会員 5,000円
日本鍼灸師会会員 5,000円
鍼灸学生 5,000円
一般 8,000円



お申込みは
こちらから

申込締め切り 令和5年11月27日(月)21時

8:30	現地受付開始
8:45	zoom開室
9:00	開会の辞
9:10	演題1「おぶせスタディから見てきたもの・今後の展望」 講師 信州大学医学部運動機能学教室教授 高橋淳先生
10:20	演題2「【実技供覧】ロコモティブシンドロームへの鍼灸治療 -鍼灸こそできる体性感覚入力からのアプローチ-」 講師 新潟医療福祉大学鍼灸健康学科教授 粕谷大智先生
12:00	総合討論
13:30	(現地のみ) 演題3「ロコモティブシンドロームへの運動療法」 講師 信州大学医学部附属病院 理学療法士 三澤加代子先生
15:00	閉会式



(受講される方へお願い)

※今後、信州大学の行動基準に沿って、運営方法の変更がある場合があります。

※視力障害、聴覚障害の方へのサポートはありません。

※WEB配信は、演題1と演題2、合同討議(午前中)のみとなります。

※通信機器、録画機器のトラブルがなければ、一部のプログラムの2週間程度のアーカイブ配信を予定しております。

ご了承の上でお申し込みください。

お問い合わせ：長野県針灸師会 学術部長 今村頌平
imamura89nagano@gmail.com

